

学位論文審査基準

医療・福祉科学研究科 医療経営学専攻において、学位論文を評価する際の審査基準は、次のとおりとする。

審査基準

【研究テーマの設定】

当該研究科専攻における専門領域に関する特定のテーマについての研究論文で、申請された学位に対して妥当なものであること。

論文作成にあたっての問題意識が明確で、研究テーマ・課題の設定が適切であること。

【研究方法の妥当性】

研究テーマを探求するための研究方法が妥当であること。

【考察および結論の妥当性と意義】

先行研究をふまえ、論文構成・論文の記述（本文、図表、引用など）が十分かつ適切であること。

研究目的、分析、結果、考察のプロセスにおける論旨が明確かつ一貫しており、論理的に明確な結論が導かれていること。

研究成果が社会・保健・医療・福祉の実現に寄与するものであること。

【研究倫理】

研究倫理が遵守されていること。

論文審査委員の体制

審査委員は、主査（指導教員）および2名の副査による3名で構成され、審査委員の選定は、専攻会議にて承認した者とする。

審査の必要に応じて、審査委員に研究科内の他専攻の教授または准教授を委員に充てることができる。

審査方法および審査項目

【審査方法】

「修士論文構想発表会」、「修士論文中間発表会」、「修士論文公聴会」を経て提出された修士論文を対象として、口頭試問および論文審査を行う。

※「修士論文構想発表会」「修士論文中間発表会」「修士論文公聴会」は、公開とする。

【審査項目】

大学院のディプロマ・ポリシーにもとづき、上記「論文審査基準」にもとづき口頭試問および論文審査を行う。

※口頭試問は、主査および副査の3名で行う。